## 二〇一四度大会の概況

(土)・二十六日 (日)の両日、愛知学院大学日進キャンパ 日本思想史学会二〇一四年度大会は、十月二十五日

(ハイデルベルク大学) オリオン・クラウタウ

(公益財団法人中村元東方研究所)

(真宗大谷派教学研究所)

松金 西村

直美

(慶應義塾大学) 上野

(龍谷大学) 岩田

スを会場として開催された。

第一日目のパネルセッション・研究発表の発表者と発表

題目は以下の通りである(研究発表の副題省略)。

## 第一会場

研究発表

1、『古事記』における大小関係の問題

(東京大学大学院) 長野

邦彦

2

中世浄土宗典籍における偽書の受容と展開 (早稲田大学) 鈴木

英之

3

2

『十訓抄』における自国と他国

3

孟子受容史論への批判的な考察 (浄土宗総合研究所研究員)

東海林良昌

4

4

(河南大学) 邱

璐

5

パネルセッション:近代日本仏教の「前夜」

第二会場

研究発表

1、天道信仰の思想史的検討

近世刊行軍書がもたらした歴史観

(公益財団法人中村元東方研究所)

加藤みち子

(防衛大学校) 井上

泰至

近世庶民の異界観

(東北大学大学院) ポロ ヴニコ ヴァ・エレーナ

青年・井上毅の思想形成

元田永孚の学問形成と李退渓思想の影響 (同志社大学大学院) 柳田 文男

(一般社団法人倫理研究所) 嚴 錫仁

> 告 報

2 第三会場 6 5 3 研究発表 9 4 10 8 7 6 「基本社会」と「時代社会」 根源神・国常立尊の説明方式から見る儒家神道の 鈴木正三の思想 「決戦下における平田学」 戦後沖縄 浜井信三と丹下健三 時事新報社説の起草者推定 明治中期の「国粋主義」と仏教 三木清の東亜協同体論 『国体論史』 源豊宗の「秋草の美学」論 神 「自立経済 から『神ながらの道』へ (日本学術振興会特別研究員) (里見日本文化学研究所) 金子 宗德 論の原点と屈折 (早稲田大学大学院) 飛田真依子 (大阪大学大学院 (広島大学大学院) (関西大学大学院) (愛知学院大学) 三浦 静岡県立大学) (立命館大学) (佐賀大学) 三ツ松 京都大学)中川 西田 平山 櫻澤 施 西井麻里奈 彰一 雅彦 未来 誠 誠 菰 洋 佳 (第四会場 5 9 8 7 6 3 2 1 研究発表 10 9 8 4 席次を争う神と人 近代「国史学」における 明治日本における足尾鉱毒事件の思想像 女性と新しい秩序 近代日本の陽明学 近代日本の儒教思想 内村鑑三における福澤批判と福澤評価 元良勇次郎の「宗教」 明治十年代・二十年代における宗教言説 荻生徂徠と新井白石の貨幣論 蟹養斎における儒教の実践的言説 寛永二十年版系『録内御書』の一部再刻と本文変化 (日本学術振興会特別研究員) (総合研究大学院大学) 山村 (日蓮正宗教学研鑽所) (お茶の水女子大学) 的観念 (東北大学) 森川 (同志社大学大学院) 齊藤 (立命館大学大学院) 「神道」 (東京大学大学院) (実践女子大学) 伊藤由希子 (東義大学校) (学習院大学) (就実大学) 徳重 堀部 山田 商 鈴木 許 松川 柴田真希都 智文 啓孝 多聞 大輔 家晟 雅信 正円 芳則 兆琦 公美

7

熊沢蕃山の

『集義外書』について

(ノートルダム女学院中学高等学校)

池田

10 『元禄忠臣蔵』 の「義士」像について

(お茶の水女子大学大学院) 小林 加代子

それぞれ承認された。続いて二〇一四年度事業計画および 議員より二〇一三年度事業報告および決算報告がなされ、 パネルセッション・研究発表終了後に総会が行われ、 評

た、会長から第八回日本思想史学会奨励賞の発表と授与が 予算案が提出され、それぞれ評議員案通り決定された。ま

行われた。受賞業績は次の作品である。 伊藤由希子『仏と天皇と「日本国」―『日本霊異記』を

森新之介 『摂関院政期思想史研究』

読む―』

引き続き、学院会館にて懇親会が開催された。

題目は以下の通りである(研究発表の副題省略)。 第二日目のパネルセッション・研究発表の発表者と発表

第一会場

パネルセッション:京都支那学派の思想論と文明論

(関西大学)

(関西大学) 胡 珍子 徳民

4

3

2

(関西大学) 呂 (関西大学) 辜 承堯 招

(広島大学) 中村

春作

第二会場 研究発表

1 日蓮遺文の真偽

(東北大学大学院) 芹澤

2

世阿弥伝書『拾玉得花』における「序破急」

寛隆

(国立石川工業高等専門学校) 佐々木香織

『毛詩』を読み替える世阿弥

3

(一橋大学大学院) 上野

太祐

4、『太平記』における武士の「恩

(広島大学大学院) 于

君

研究発表

(第三会場

1、芸道の実践と統治をめぐる言説

(国際基督教大学大学院)

将成

『混沌分判図説』にみる阿蘭陀通詞 篠原

(国際基督教大学) 久保 誠

「渇仰の貴賤」からみる如来教

(立命館大学大学院) 石原

和

幕末・明治期における武家の茶の湯

(前吉備国際大学)

市村 祐子

報 告 261

引き続き、「死者の記憶-―思想史と歴史学の架橋―」 を

テーマにシンポジウムが開催された。

司 会

> (吉野作造記念館) 大川

出 真

(愛知県立大学) 大野

(東北大学 佐藤 弘夫

(名古屋大学 (千葉大学) 見城 羽賀 悌治 祥二

大量死の時代と社会的対応 死者とカミのあいだ パネリスト

コメンテータ

(愛知県立大学)

樋口

浩造

氏 名

所属等

(専門分野

信祐 愛知学院大学研究員・非常勤講師

山端

関西大学大学院・日本学術振興会特別研究員

亨

榧木

学

(楽律論·朱子学

超

関西大学大学院

(日本近代思想史)

承堯

関西大学大学院

関西大学大学院

(文化交渉学) (文化交渉学)

珍子

胡

愛知学院大学禅研究所研究員・非常勤講師 立命館大学大学院(日本近代思想史)

仏

加藤

正賢

教史学 · 仏教学)

高等学校非常勤講師

(日本近·現代思想史研

究

野崎

美夫

栗田 英彦

東北大学大学院

(宗教学)

松永

優子

東京大学大学院(近世日本思想史、

国学思想

死生観)

彩雲

岡山大学大学院

龍谷大学大学院

真裕

お茶の水女子大学大学院(日本倫理思想史)

南京信息工程大学講師(日本思想史、近世儒学

(日本近世史) (日本語

日本思想史学47(2015)

(宗教民俗

262

新入会員(二〇一四年十月以降承認。受付順·敬称略)